

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	古典探究	単位数	3単位	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース
使用教科書	精選古典探究（第一学習社）		副教材等	古典文法書、古典単語帳、漢文必携	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	古説話 古今著聞集 「小式部内侍が大江山の歌の事」	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。	○			・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○		・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	
				○	・和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。		
6	漢故事・寓話 孫子「呉越同舟」 呂氏春秋「知音」	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	○			・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。	
				○		・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈している。	
					○	・故事成語の由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	
6	古随筆 方丈記「ゆく川の流れ」	・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。	○			・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	
				○		・文章に表れているものの見方を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりしている。	
					○	・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	
7	漢名家の文章 昌黎先生文集「雑説」 柳先生文集「黔之驢」	・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。	○			・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○		・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	
					○	・文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
8	古物語 大鏡「弓争ひ」 「花山天皇の出家」	・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○			
					○		
9 10	漢項羽と劉邦 史記「鴻門之会」 「四面楚歌」	・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。 	
				○			
					○		
11	古物語 源氏物語「光る君誕生」 「若紫」	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 	
				○			
					○		
	漢不思議な世界 「酒虫」	・人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考え方に触れ、劉氏にとっての酒虫の意味について考える。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・番僧に会う前後の劉氏の考え方の変化を説明しようとしている。 	
				○			
					○		
12	古日記 更級日記「門出」 「源氏の五十余巻」	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。 	
				○			
					○		
1 2	古日記 蜻蛉日記「うつろひたる菊」 「潰坏の水」	・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。 ・文章に表れているものの見方を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・『蜻蛉日記』の特徴について、理解を深めようとしている。 	定期考査 授業態度 小テスト 課題
				○			
					○		
	漢漢詩の鑑賞 「秋風引」ほか	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。 	
				○			
					○		
3	漢諸家の思想 孟子「性善」 老子「小国寡民」 莊子「渾沌」 韓非子「侵官之害」ほか	・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。 ・文章に表れているものの見方を踏まえて、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・諸子百家の思想を学び、それぞれの主張の関係を捉えようとしている。 	
				○			
					○		